平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月11日

上場会社名　モバイルクリエイト株式会社　　上場取引所　東 福
コード番号　3669　URL　http://www.mcinc.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）村井　雄司
問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長　（氏名）佐藤　一彦　TEL 097-576-8181
四半期報告書提出予定日　平成25年1月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト　向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績（平成24年6月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	1,293	—	209	—	201	—	122	—
24年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益　25年5月期第2四半期　124百万円　（—%）　24年5月期第2四半期　—百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	151.89	—
24年5月期第2四半期	—	—

（注）1. 当社は、当連結会計年度から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年5月期第2四半期の記載及び平成25年5月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式(新株予約権)は存在するものの、当社株式は平成25年5月期第2四半期においては非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
3. 当社は、平成24年10月1日付で、普通株式1株につき普通株式200株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益は、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第2四半期	2,551	1,082	42.4
24年5月期	1,832	732	40.0

（参考）自己資本　25年5月期第2四半期　1,082百万円　24年5月期　732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	—	—	0.00	0.00
25年5月期	—	0.00			
25年5月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 5月期の連結業績予想（平成24年 6月 1日～平成25年 5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,814	55.2	508	46.2	492	48.2	286	56.6	310.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年5月期2Q	938,400 株	24年5月期	788,200 株
② 期末自己株式数	25年5月期2Q	― 株	24年5月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年5月期2Q	808,752 株	24年5月期2Q	― 株

(注)当社は、平成24年10月1日付で、普通株式1株につき普通株式200株の株式分割を行っております。期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、平成24年12月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式）により、発行済株式数が106,800株増加しております。平成25年5月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当該募集株式を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（７）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に景気の一部に持ち直しの傾向が見られたものの、欧州での財政不安長期化や中国経済の成長鈍化等の世界経済停滞により、企業を取り巻く環境は総じて厳しく、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは移動体通信事業者として主にトラック運送事業を営む物流業者とタクシー事業やバス事業を営む道路旅客運送業者に対して、ビジネスニーズに合わせた移動体通信網や移動体管理システムを提供してまいりました。主力製品である「ボイスパケットトランシーバー」については、当第２四半期連結累計期間に新型機種を市場に投入し、代理店網を活用した販売が順調に拡大してまいりました。

当社グループは、システム販売時における収入であるフロービジネス（売上区分：アプライアンス）だけでなく、販売したシステムの継続的なサービス提供による利用料等を収受するストックビジネス（売上区分：モバイルネットワーク及びカスタマサービス）を拡充することで安定的な収益確保と業績の向上に努めております。

このような取り組みの結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は 1,293,950 千円、営業利益は 209,927 千円、経常利益は 201,526 千円、四半期純利益は 122,844 千円となりました。

なお、売上区分（移動体通信事業の単一セグメント）については、次のとおりであります。

売上区分	売上高（千円）
アプライアンス	1,002,090
モバイルネットワーク	214,703
カスタマサービス	77,156
合計	1,293,950

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の資産合計は 2,551,418 千円となり、前連結会計年度末と比べ 719,038 千円増加しました。これは主に現金及び預金が 185,632 千円増加したこと、売上増加に伴い受取手形及び売掛金が 261,323 千円増加したこと及びたな卸資産が 177,995 千円増加したことによるものであります。

負債合計は、1,468,813 千円となり、前連結会計年度末と比べ 368,976 千円増加しました。これは主に、未払法人税等が 32,276 千円減少したものの、買掛金が 279,363 千円増加したこと並びに短期借入金及び長期借入金が 128,940 千円増加したことによるものであります。

純資産合計は、1,082,604 千円となり、前連結会計年度末と比べ 350,062 千円増加しました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ 112,650 千円増加したこと並びに利益剰余金が 122,844 千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ 185,632 千円増加し、401,082 千円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは 20,252 千円の支出となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益 201,526 千円及び減価償却費 53,708 千円を計上し、仕入債務が 279,363 千円増加したものの、売上増加に伴い売上債権が 261,323 千円増加したこと、たな卸資産が 177,995 千円増加したこと及び法人税等を 126,472 千円支払

ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは 125,099 千円の支出となりました。これは主に新社屋の改修工事及び設備工事等による有形固定資産の取得 55,160 千円、「ボイスパケットトランシーバー」のバージョンアップ等による無形固定資産の取得 69,657 千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは 330,984 千円の収入となりました。これは主に新株予約権の行使に伴う新株式の発行により 224,023 千円の収入があったこと及び運転資金の調達のために短期借入金が 100,000 千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成 24 年 12 月 19 日に公表致しました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」における通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	215,450	401,082
受取手形及び売掛金	421,754	683,077
たな卸資産	476,025	654,020
その他	161,111	179,104
貸倒引当金	△3,992	△1,748
流動資産合計	1,270,349	1,915,536
固定資産		
有形固定資産	297,425	341,803
無形固定資産	211,024	238,676
投資その他の資産		
その他	53,693	55,522
貸倒引当金	△113	△120
投資その他の資産合計	53,580	55,401
固定資産合計	562,030	635,881
資産合計	1,832,379	2,551,418
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,807	338,171
短期借入金	35,448	145,456
1年内償還予定の社債	138,200	138,200
未払法人税等	128,833	96,556
引当金	3,131	24,165
その他	107,256	106,684
流動負債合計	471,676	849,233
固定負債		
社債	372,700	353,600
長期借入金	234,156	253,088
引当金	734	731
その他	20,570	12,160
固定負債合計	628,160	619,580
負債合計	1,099,837	1,468,813

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年５月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	113,525	226,175
資本剰余金	103,525	216,175
利益剰余金	517,228	640,072
株主資本合計	734,278	1,082,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,736	181
その他の包括利益累計額合計	△1,736	181
純資産合計	732,542	1,082,604
負債純資産合計	1,832,379	2,551,418

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年６月１日 至 平成24年11月30日）
売上高	1,293,950
売上原価	885,493
売上総利益	408,457
販売費及び一般管理費	198,529
営業利益	209,927
営業外収益	
受取利息	30
受取配当金	294
貸倒引当金戻入額	2,207
その他	721
営業外収益合計	3,253
営業外費用	
支払利息	6,678
株式公開費用	2,790
株式交付費	1,276
社債発行費	909
営業外費用合計	11,654
経常利益	201,526
税金等調整前四半期純利益	201,526
法人税、住民税及び事業税	94,582
法人税等調整額	△15,900
法人税等合計	78,682
少数株主損益調整前四半期純利益	122,844
四半期純利益	122,844

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年６月１日 至 平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	122,844
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,917
その他の包括利益合計	1,917
四半期包括利益	124,762
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	124,762
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年６月１日 至 平成24年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	201,526
減価償却費	53,708
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,236
引当金の増減額（△は減少）	21,031
受取利息及び受取配当金	△324
支払利息	6,678
株式交付費	1,276
社債発行費	909
売上債権の増減額（△は増加）	△261,323
たな卸資産の増減額（△は増加）	△177,995
仕入債務の増減額（△は減少）	279,363
その他	△8,262
小計	114,351
利息及び配当金の受取額	361
利息の支払額	△8,493
法人税等の支払額	△126,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△55,160
無形固定資産の取得による支出	△69,657
その他	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,099
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	100,000
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△21,060
社債の発行による収入	99,090
社債の償還による支出	△119,100
株式の発行による収入	224,023
その他	△1,969
財務活動によるキャッシュ・フロー	330,984
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	185,632
現金及び現金同等物の期首残高	215,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	401,082

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社グループは、報告セグメントがデジタル携帯通信網を利用した製品の開発・製造及び販売並びにこれらに付随する通信・アプリケーションのサービス及び保守に関する業務等の「移動体通信事業」一つであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第２四半期連結会計期間において、新株予約権の行使に伴う新株式の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ 112,650 千円増加しております。

（７）重要な後発事象

（新株式の発行）

当社は、平成 24 年 12 月 19 日に東京証券取引所マザーズ、平成 24 年 12 月 20 日に福岡証券取引所Ｑ－Ｂｏａｒｄに上場いたしました。

当社は、上場に当たり、平成 24 年 11 月 14 日及び平成 24 年 11 月 29 日開催の取締役会において新株式の発行を決議し、次のとおり平成 24 年 12 月 18 日に払込が完了しております。

この結果、同日付で資本金は 373,559 千円、発行済株式総数は 1,045,200 株となっております。

① 募集方法	：	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
② 発行する株式の種類及び数	：	普通株式　106,800 株
③ 発行価格	：	１株につき　3,000 円
④ 引受価額	：	１株につき　2,760 円

この価額は、当社が引受人より１株当たりの新株式払込金として受取った金額であります。なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

⑤ 発行価額（会社法上の払込金額）	：	１株につき　2,295 円
⑥ 資本組入額	：	１株につき　1,380 円
⑦ 引受価額の総額	：	294,768 千円
⑧ 発行価額の総額	：	245,106 千円
⑨ 資本組入額の総額	：	147,384 千円
⑩ 払込期日	：	平成 24 年 12 月 18 日
⑪ 資金の使途	：	当社の主力製品である「ボイスパケットトランシーバー」の仕入れに伴う運転資金に充当する予定であります。